

2017年

1月17日(火) 14:45-16:15

慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎 515 教室

司会：巽孝之（本塾文学部教授）

※入場無料・予約不要

特別講演会

ホーソーン『緋文字』研究の新展開

バーコヴィッチを超えて

# 講師 入子文子 (関西大学元教授)

◎講師紹介 入子文子 (IRIKO Fumiko) ◎

関西大学元教授。人文科学博士（お茶の水女子大学）。アメリカ文学専攻。アメリカン・ルネッサンス文学をヨーロッパ精神史に照らして考察した独自の研究には定評がある。特にナサニエル・ホーソーン研究にかけては本邦有数の権威。

<単著>

『ホーソーン・《緋文字》・タペストリー』（南雲堂、2004年）、『アメリカの理想都市』（関西大学出版部、2006年）、『メランコリーの垂線』（関西大学出版部、2012年）。

<監修>

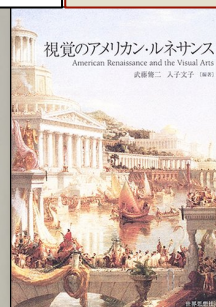
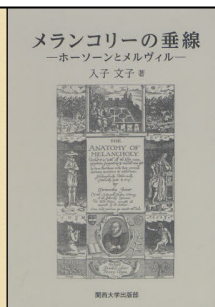
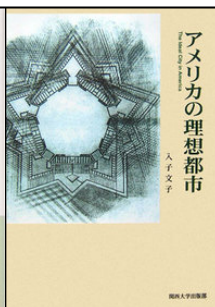
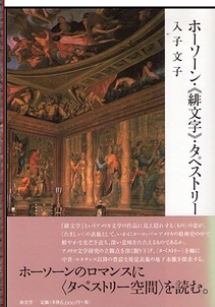
『水と光—アメリカの文学の原点を探る』（開文社出版、2013年）。

<編著>

『視覚のアメリカン・ルネサンス』（世界思想社、2006年）、『図像のちからと言葉のちから』（大阪大学出版会、2007年）、『独立の時代—アメリカ古典文学は語る』（世界思想社、2009年）、『英米文学と戦争の断層』（関西大学出版部、2011年）。

<共著>

『アメリカ文学における夢と崩壊』（創元社、1987年）、『英語英米文学の新潮流』（金星堂、1992年）、『アメリカを読む』（大修館書店、1998年）、『女というイデオロギー』（南雲堂、1999年）、『緋文字の断層』（開文社、2001年）、『メディアと文学が表象するアメリカ』（英宝社、2009年）。ほか多数。



主催：文部科学省科学研究費助成事業基盤研究 (C) 15K02349「モダニズム文学形成期の慶應義塾の介在と役割」

共催：慶應義塾大学藝文学会、慶應義塾大学アメリカ研究プロジェクト

※問い合わせ：慶應義塾大学藝文学会事務局 <geibun@flet.keio.ac.jp>

写真：八木敏雄先生の新著を言祝ぐ新春の会 (2012/1/21)